

北海道総合福祉研究センターニュース No. 29

2021.1.1

巻頭言

「さだまさしの『雨宿り』に見る私たち日本人の祈りの姿」

理事長 五十嵐教行

まさかこの21世紀の時代に、「アマビエ」という妖怪を探し出し、その力にすがろうとする人々の様子を見るとは思いもしなかった。新型コロナウイルスによって私たちの生活は一変した。それは、私たちの目には見えず、有効な対策がまだ確定していないこともあって、どれだけ私たちの不安と苦しみを大きくさせていることか。

だから、私たちは祈るのである。平安が訪れますようにと。私たちの祈りは案外強い。「一念岩をも通す」と言うくらいである。よって、“祈りの力”を信じている人は多いだろう。そうした心的背景が、冒頭の「アマビエ」の登場につながったのだと思う。

ところで、さだまさしの『雨宿り』という曲をご存知だろうか。「苦しい時の神頼み」が主たるテーマである。この歌の世界は、こうだ。神様の存在を信じていなかった頃の「私」が、ある雨降りの日に素敵な彼に会う。彼との出会いは、たまたま同じ場所で雨宿りをしたというほんの通りすがりのものであったが、それは“もう一度会いたい”と願わせるほどの一目惚れ。そのもう一度会いたいという願いが「苦しい時の神頼み」なのである。

さて、「苦しい時の神頼み」をした「私」は、その彼に再会できるのである。神様は願いを見事に叶えたのだ。しかもそれは初詣。まさに神様の目の前でと言うべきか。しかも厳かなハレの日に劇的に再会させてくれるのである。さらにその再会のキッカケは、「神様、さすが！」と言いたくなるほどだ。初詣で大賑わいの境内の中であって、ちょっと押されたくらいなら気づかないかもしれない状況下でも、二人が絶対に気づくようにと、神様は彼に「私」の晴れ着の裾を踏んづけさせて謝罪させるのである。そのことで、二人が同時に「あの時のあの人が！」と気づかせるわけだから、なんという力業であろうか。

このようにして「私」の再会したいという苦しい時の神頼みは叶うのだが、2点ほど指摘したい。まずは、苦しい時の神頼みについてである。この願いは確かに都合が良いとも言えるが、実は苦しいからこそ、けっこう一途で力強い祈りであると言える。だから、神様に届くし、神様も思わず叶えてあげたくなってしまわないかと思えるのである。

次に、叶うキッカケが「私」の晴れ着の裾を踏んづけられるというところだ。つまり「受け身である」ということ。彼が踏んづけるという行為は、もちろん彼自身には意図的なものはなく、誰の着物の裾を踏んづけてもよかったはずだったのに（もっとも踏んづける行為は良くないのだが）、よりによって「私」の晴れ着の裾を踏んづけてしまうわけだ。「私」のママや兄貴は、そんな奇跡的な偶然が降りかかるとは信じられないとしているが、そこにこそ神様のお働きがあるのだということをこの曲は教えていると考える。そして、私たちもその再会の奇跡を疑うことなく、素直にその曲の世界観を受け入れている。神様は確かにいると信じているのだ。

生きていると思いがけないことがよく起きる。しかもそれらに自分の意思が及ぶことはない。自然災害はその最たるもので、それゆえ私たちは祈るのだ。祈らざるにはいられないのかもしれない。自分にとって良きことが起こるようにと。奇跡的な偶然が起きた体験を持っている人は多いのではないだろうか。筆者にもそういう体験がある。神様への感謝とお礼を忘れずにいたいと思う。小惑星から砂を持ち帰ることができるようになった21世紀に生きる私たちは今日も祈る。

「大丈夫か！？国試！」社会福祉士国試対策講座の講義内容より

2021年1月9日と10日の2日間で計3回の直前対策講座を開催しました。毎年、お盆過ぎと正月明けの2回、社会福祉士国家試験の対策講座を行っています。

そこで、毎年講座のテキストを作りながら感じることをお伝えします。社会福祉士国家試験の範囲はとても広く、覚えておかなければならないことが山のようにあります。働きながら勉強している受験生の中には、コロナの影響をもろに受けて、勉強どころではないということで、来年の受験に切り替えた人もいます。

そんな人に声を大きくして、言いたいです。　　ちょっと待ってえ～！

覚えていなくても解ける問題があるのです。よく考えれば正解を導き出せます。前回の第32回の問題を紹介します。これを読めば、もしかしたら、今からでもまだ間に合うか？と思えてくるかも……………。

問36 社会福祉法に規定されている地域福祉に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。 正解は5

1. 地域住民等は、地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制の整備に努めなければならない。
2. 市町村は、市町村地域福祉計画を市町村社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画と一体的に策定しなければならない。
3. 都道府県は、福祉サービスを必要とする地域住民の地域生活課題を把握し、支援関係機関と連携して解決を図るよう留意しなければならない。
4. 社会福祉を目的とする事業を営業者は、地域福祉の推進に係る取組を行う他の地域住民等に助言と指導を行わなければならない。
5. 国及び地方公共団体は、地域福祉の推進のために必要な各般の措置を講ずるよう努めなければならない。

☆五十嵐の解説

1. 要は、「支援体制の整備に地域住民は努めなければならない」ということですが、地域住民には、隣家のおばあさんや真向かいの幼稚園児も含まれるから、彼らにそんなことを求められても困るだろうなあと。だから正しくないと思う。
2. この設問は覚えていないと答えられないから、△にしておく
3. 「都道府県は、福祉サービスを必要とする地域住民の地域生活課題を把握し」と書いているけれど、地域生活課題って本当に細かいのに（例えば隣家の人のゴミ出しルールの不備とか）、そんなことを道職員が把握する事なんてできる？ムリじゃない？と思えるので、正しくないと思う。
4. 要は「事業営業者は、地域住民等に助言と指導を行う」というのですが、例えばヘルパー事業所の営業者が住民に指導するの？よしんば指導をしたとしても、それを住民は受け止めるの？いろいろな考え方を営業者がいるのに、それを素直に「はい、そうですか」とはなりにくいので、正解とは言えない。
5. この設問文だけは、何一つ具体的な記述がない。突っ込みどころがない。この設問文は、ごもっともですと思えるので、これを間違いとは言えない。

→よって、2と5が残ったけれど、より〇に近い方を選ぶと5になる。

#いかがでしたか？科学的な推論(?)から正解を導き出す方法は？

どうぞみなさんもお試しあれえ～

お後がよろしいようで……

「へー、そうだったのか！」シリーズ

第1回 「アイヌ語は消滅危機言語だった！」

2020年7月12日にウポポイ（英語：Upopoy）が北海道白老町に「民族共生象徴空間」の愛称としてオープンしました。筆者もオープン後すぐに見学に行ってきました。

「ウポポイ」とは「（おおぜいで）歌うこと」という意味です。さらに今さらですが、「アイヌ」とは「人間」を意味する言葉で、「カムイ」に対する概念としての「人間」という意味であるとされています。

アイヌ語は明治以降の近代化によって失われていき、2009年、ユネスコによって消滅の危機にある言語、「消滅危機言語」と位置づけられました。

ところで、現在、世界ではおよそ7,000の言語が使われていますが、そのうちの半数の言語が今世紀中に消滅すると言われていています（ちなみに100万人程度の話者を持つ言語は今後100年程度は安定であるとされています）。すでに現在進行形で、世界中のあちこちで「言語」が消滅しています。ナショナル・ジオグラフィック誌の指摘によれば、なんと世界中で「2週間に1つほどの割合で言語が消滅している」というのです。

消滅する要因は、以下の通り。①過去に植民地となった地域では元々の言語の使用が禁止、宗主国の言語を学ばせられて消滅、そしてフランス語、スペイン語、ポルトガル語などの言語が世界各地で広がりました。②現在ではたとえ少数言語を学んだとしてもその言語を生かした仕事が少なく、親から子へと言語が継承されません。③インターネットの普及です。パソコン使用の際、キーボード上のアルファベットを使用すれば簡単に文字入力できますが、それ以外の文字を使う言語にとっては入力そのものが困難です。グローバル化による負の影響です。

UNESCO は世界危機言語の危険度と数を下記のように示しています。

- 脆弱（Vulnerable）：628
- 危険（Definitely Endangered）：679
- 重大な危険（Severely Endangered）：555
- 極めて深刻（Critically Endangered）：608
- 1950年以降に消滅（Extinct）：254

我が国の言語も UNESCO より指定されています。

奄美語 - Amami - 危険

八丈語 - Hachijo - 危険

国頭語 - Kunigami - 危険

宮古語 - Miyako - 危険

沖縄語 - Okinawan - 危険

八重山語 - Yaeyama - 重大な危険

与那国語 - Yonaguni - 重大な危険

アイヌ語 - Ainu (Hokkaido) - 「極めて深刻」

*アイヌ語の話者数は、1996年の調査で15人、2007年の調査で10人でした。

この事実には驚きました。そして私自身の無知さ加減にも。

※参考文献／文化庁のホームページ

ウポポイのホームページ

日本語学会「危機言語のページ」など多数

社会福祉従事者だからこそその苦労や工夫など教えてください！

社会福祉の現場で働いている人たちからお話しをお聞きしていますが、とにかくみなさん疲れています。気の毒になるくらいです。忍耐を強いられる業務だと思います。

そして、利用者とその家族の方もそれぞれにガマンしています。こんな生活をいつまで続けられいいのか！と叫びたくなります。

現場での苦労や工夫など、どうぞ教えてくださいませ。ご協力できる方がいましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

現在、放送中のコミュニティ FM さっぽろ村ラジオ 『とびっきりの福祉』の番組の中で機会あるごとに一般リスナーに伝えていきたいと考えています。

電話 / 090-8638-7264 E-Mail / hsfkc@minos.ocn.ne.jp

* コミュニティFM さっぽろ村ラジオ 『とびっきりの福祉』 毎週土曜日午前11時から11時58分、FM81.3MHz、MC / 五十嵐教行、インターネットでも配信中

【北海道総合福祉研究センター会員登録をお願いいたします】

北海道総合福祉研究センターは、特定非営利活動法人として活動しています。この法人は、社会的活動の内容に賛同してくださる皆様からの会費収入と事業収入により運営しております。

そこで、当センターの活動主旨にご賛同いただける皆様に、正会員(個人)および賛助会員(企業・団体)のご登録をお願いいたします。

会員の皆様には、3ヶ月に1回発行の会報「北海道総合福祉研究センターニュース」や毎月発行の「ちょっと不思議、すごく不思議、やっぱり変」と題したハガキ、当センター主催の各種研修・講座等のご案内をお送りいたします。理事長の五十嵐は、「傾聴」の実践活動もしています。誰かに話をしたらラクになるという体験を多くの人は持っています。しかし、気兼ねせずに話のできる相手がいなくて、孤独感を感じる時があります。そういう時こそ、どうぞ理事長の五十嵐の傾聴を利用してみてはいかがでしょうか。しっかり聴きます。一度お電話してみてください。お応えできると思います。

また、よりよいコミュニケーションを通じた効果的な部下の育成方法なども教えております。風通しの良い組織づくりのため、こちらもお問い合わせくださいませ。

この機会に是非ご入会のご検討をさせていただきますよう、お願いいたします。

(1) 正会員 (個人)

年会費 3,000円

(2) 賛助会員 (企業・団体) 年会費 10,000円(1口)

※ 年会費のお支払いは、次のいずれかにお振り込みください。

北海道銀行 白石支店 普通口座 0803475

北洋銀行 北郷支店 普通口座 0665741

郵便振替 口座番号 02770-1-60492

【編集後記】

現在、仮事務所の物件を探しています。次年度から理論(講義・講演)だけではなく実践を伴った事業展開について思案中です。詳細が決まり次第、ホームページなどにアップしていきたいと考えています。センターニュースではそれらの動きのまとめを掲載していきます。今年は私にとって、とても『良い年』なのだそうです。ワクワクします。

どうぞ今年1年間、よろしくお付き合いくださいますようお願いいたします。(五)

発行日 2021年1月1日

発行者 五十嵐教行

発行 特定非営利活動法人北海道総合福祉研究センター
〒003-0029 札幌市白石区平和通5丁目北6番21号

電話 090-8638-7264

FAX 011-595-7400

E-Mail hsfkc@minos.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.hsfkc.org>